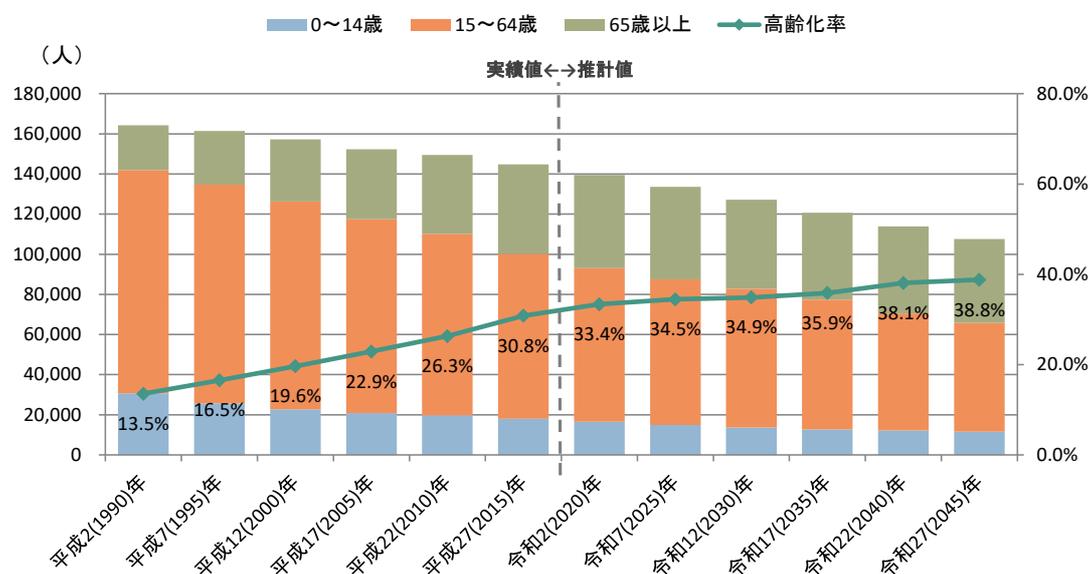


## 第2章 周南市の現状とまちづくりの方向性

### 2-1. 周南市の現状

#### 2-1-1. 人口

本市の人口の推移をみると減少が続いており、20年後の令和22（2040）年では約11万4千人と見込まれています。65歳以上の高齢者は増加し、令和22（2040）年には、高齢化率が約38%まで上昇すると見込まれています。

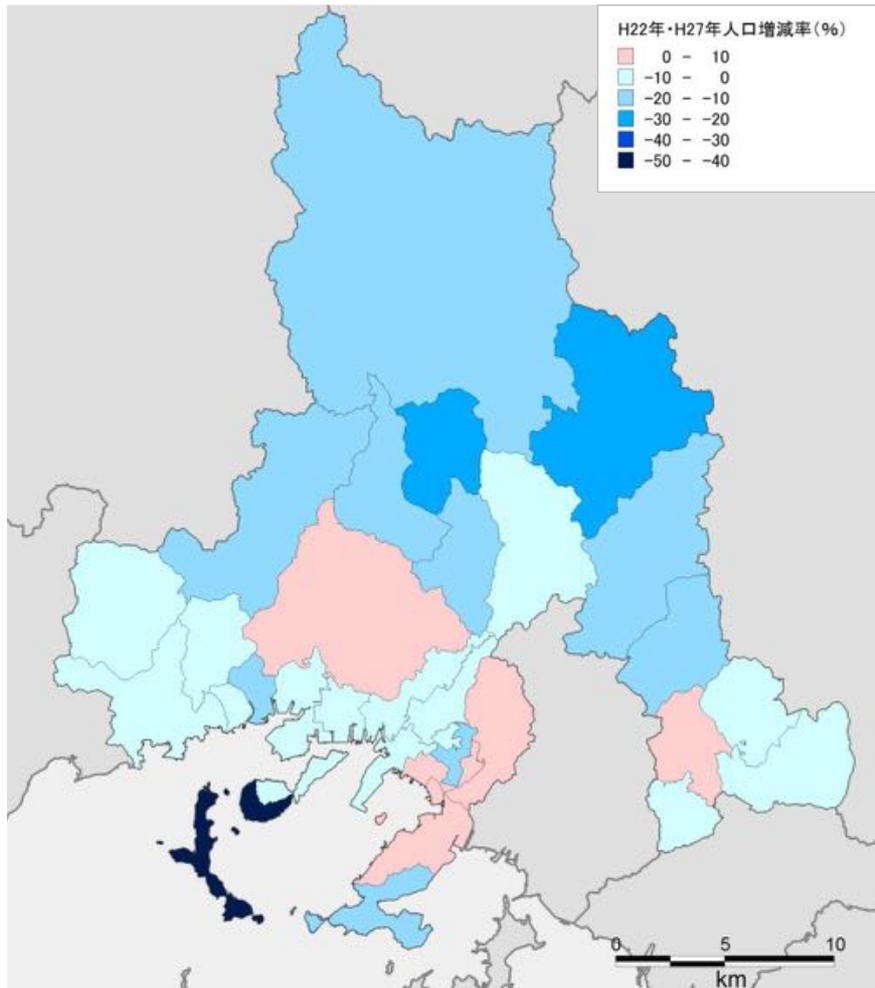


資料：国勢調査（1990年～2015年）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

図4 周南市の人口の推移と将来見通し

平成 22 (2010) 年と平成 27 (2015) 年で比較すると、島しょ部及び中山間地域を中心に人口減少がみられます。一方で、中心部から少し離れた郊外部で人口増加がみられ、スプロール化<sup>2</sup>が進んでいます。人口集中地区<sup>3</sup> (以下「DID」という。)の拡大状況をみても、年々郊外部かつバス路線からやや離れたエリアに拡大していく傾向にあります。

しかしながら、DID 内の人口密度・人口は右肩下がりの傾向が続いていることから、都市の低密度化が進んでいる状況です。



資料：国勢調査 (2010 年・2015 年)

図 5 周南市の人口増減率

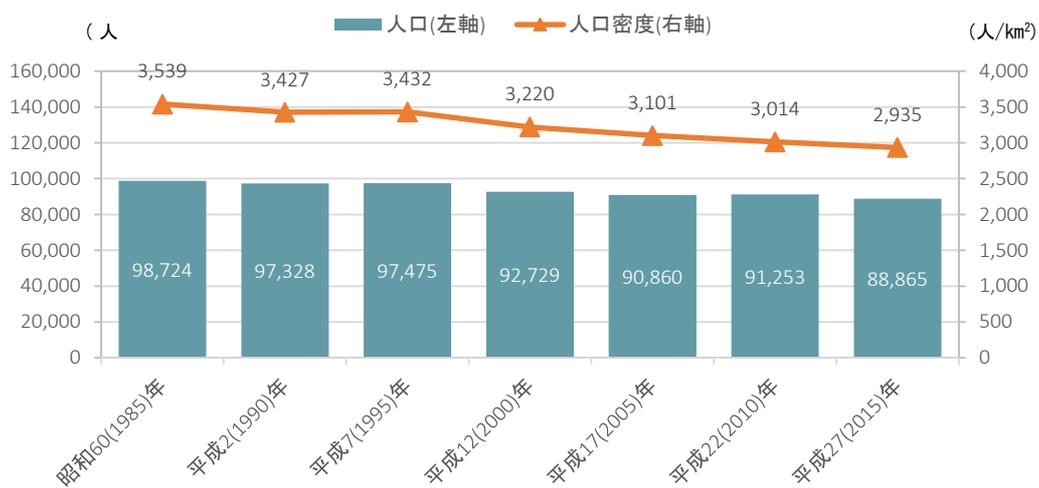
<sup>2</sup>スプロール化：都市が急速に発展し、都心部から周辺へと無秩序・無計画に市街地開発が不規則に広がる現象。

<sup>3</sup>人口集中地区 (DID)：“Densely Inhabited District”の呼称。国勢調査において設定される統計上の地区。英語による市区町村の区域内で人口密度が 4,000 人/km<sup>2</sup>以上の基本単位区が互いに隣接して人口が 5,000 人以上となる地区に設定される。



資料：国勢調査（2010年～2015年）

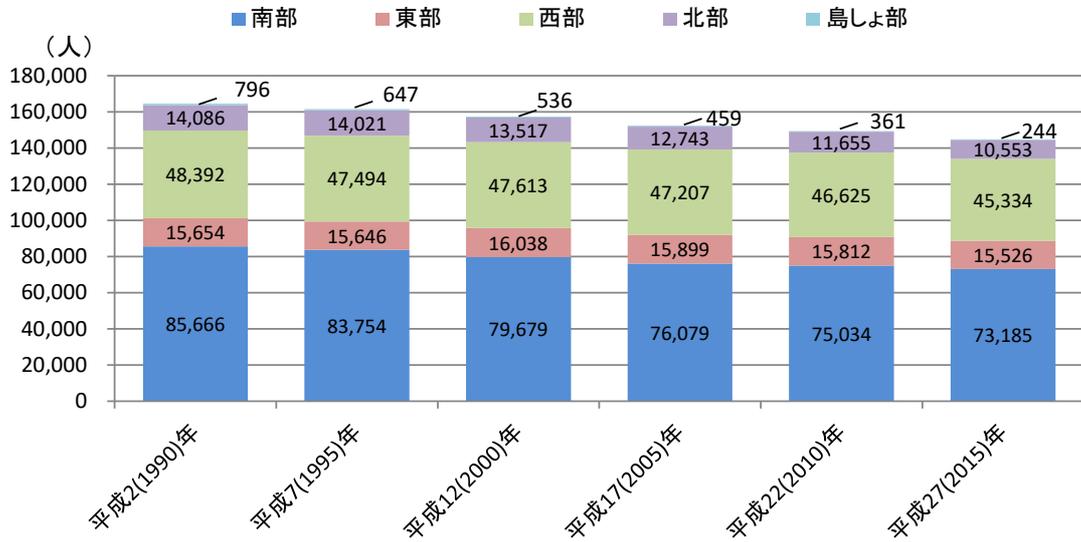
※例えば、2015年 DID 拡大地域とは、2010年から2015年の5年間で、新たに拡大した DID のエリアを指す  
 図 6 人口集中地区の拡大状況（平成 22（2010）年以降）



資料：国勢調査（1985年～2015年）

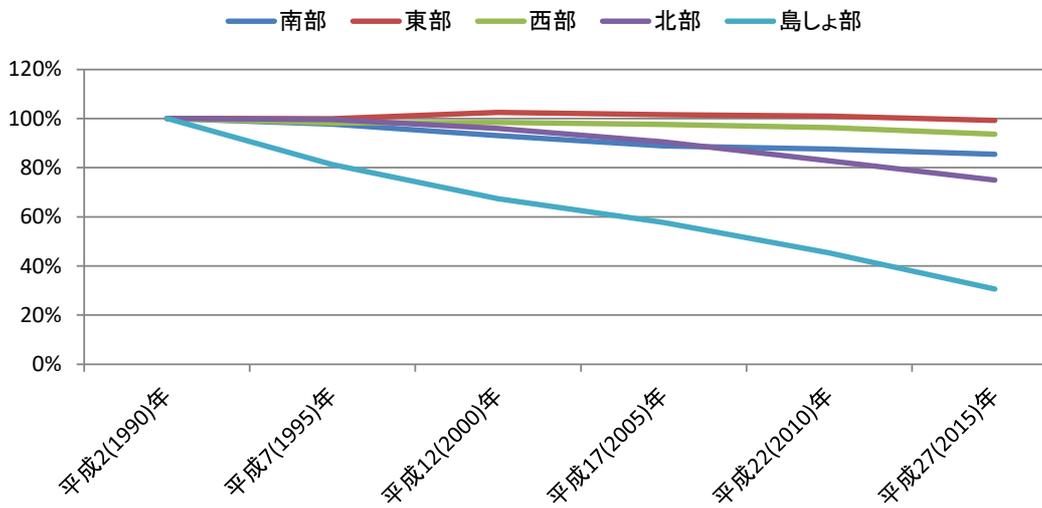
図 7 人口集中地区内の人口及び人口密度

地域別にみると、人口の推移割合が最も大きいのは島しょ部で、平成2（1990）年～平成27（2015）年の25年間で人口が1/3程度まで減少しています。次いで、北部、南部の順に人口減少割合が多くなっています。



資料：国勢調査（1990年～2015年）

図8 周南市の地域別の人口の推移

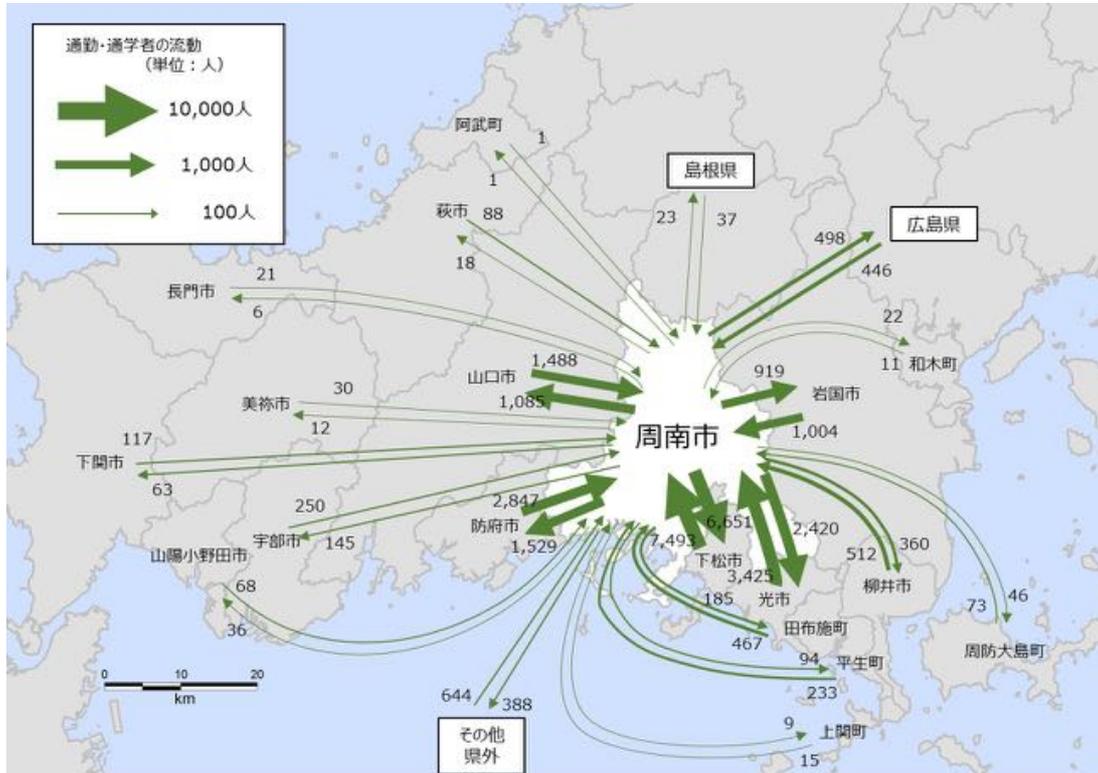


資料：国勢調査（1990年～2015年）

図9 周南市の地域別の人口の推移割合（平成2（1990）年を100%とした場合）



通勤・通学の人口流動の流入をみると、近隣市町との往来が多く、特に下松市や光市、防府市との間での移動が多くなっています。



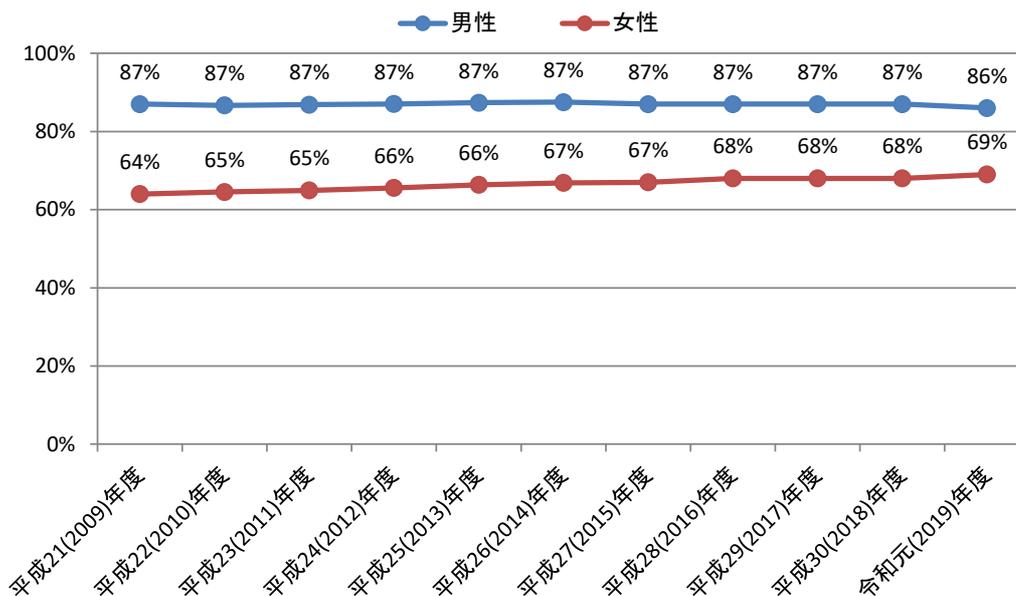
資料：国勢調査（2015年）

図 11 周南市内外への通勤・通学流動（15歳以上）

### 2-1-4. 地域におけるマイカーの状況

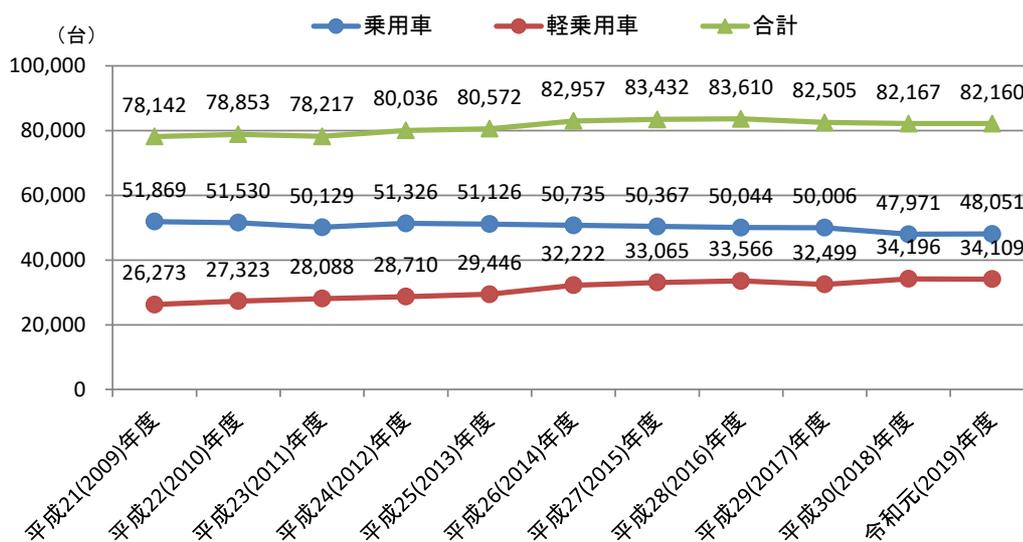
市民の運転免許保有率（全年齢）は、男性はほぼ横ばいである一方、女性はやや増加傾向となっています。

市内の自動車保有台数は平成 28（2016）年度をピークに漸減傾向にあります。乗用車の保有台数が減少する一方、軽乗用車の保有台数は増加傾向にあります。



資料：周南市

図 12 周南市における運転免許保有率の推移（全年齢の男女別）



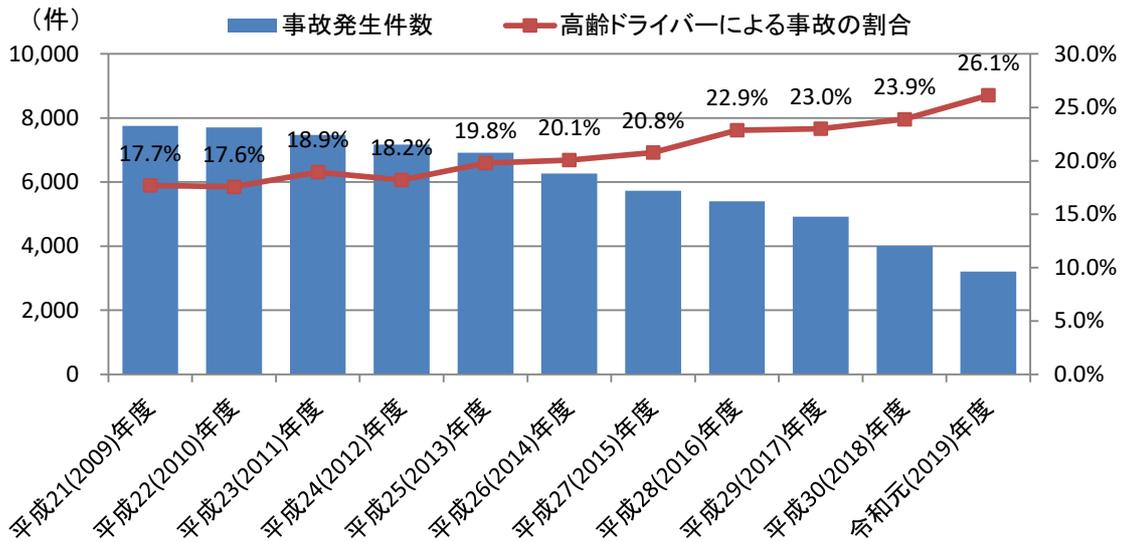
資料：周南市

図 13 周南市における自動車保有台数の推移

### 2-1-5. 高齢ドライバーによる事故

県内の交通事故の発生件数は減少傾向が続き、平成 17（2005）年度の半数以下まで減っています。一方で、交通事故全体に占める 65 歳以上の高齢ドライバーによる交通事故の割合は、依然として増加傾向が続いています。

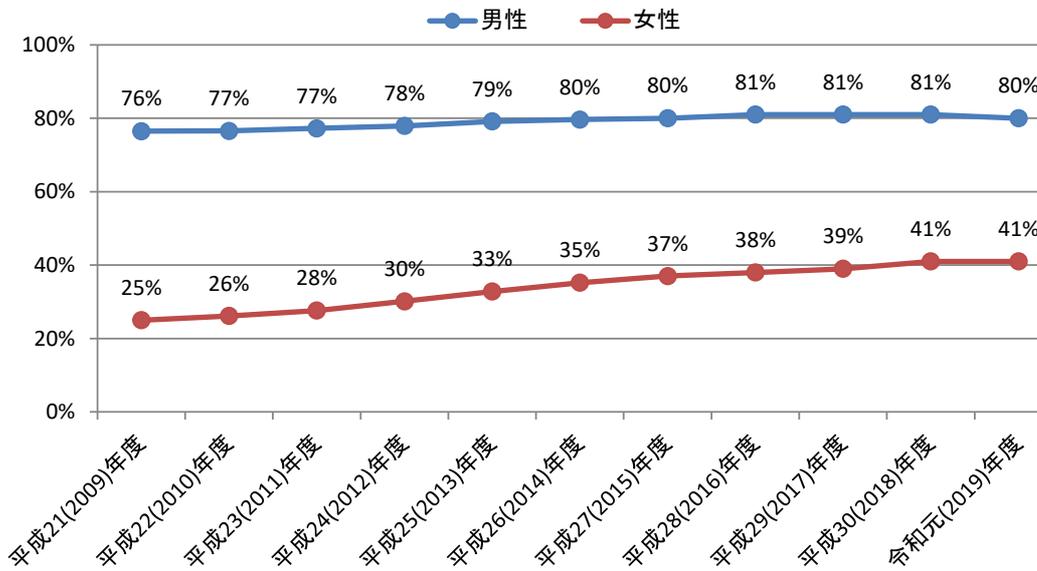
65 歳以上の運転免許保有率は、男性は横ばいですが、女性は増加しています。



資料：山口県警察本部「交通白書 2019 年版」

図 14 山口県内における交通事故の年間発生件数と高齢ドライバーによる事故<sup>\*</sup>の割合の推移

<sup>\*</sup>65 歳以上の高齢者が原付以上の車両を運転して第 1 当事者となった事故をさす



資料：周南市

図 15 周南市における運転免許保有率の推移（65 歳以上の男女別）

2-2. 周南市の公共交通を取り巻く現状

2-2-1. 陸上交通の概況

(1) 鉄道

① 運行状況

JR 山陽新幹線のほか、在来線は JR 山陽本線、JR 岩徳線が東西方向に運行されています。市内には徳山駅をはじめ、8つの在来線駅があります。

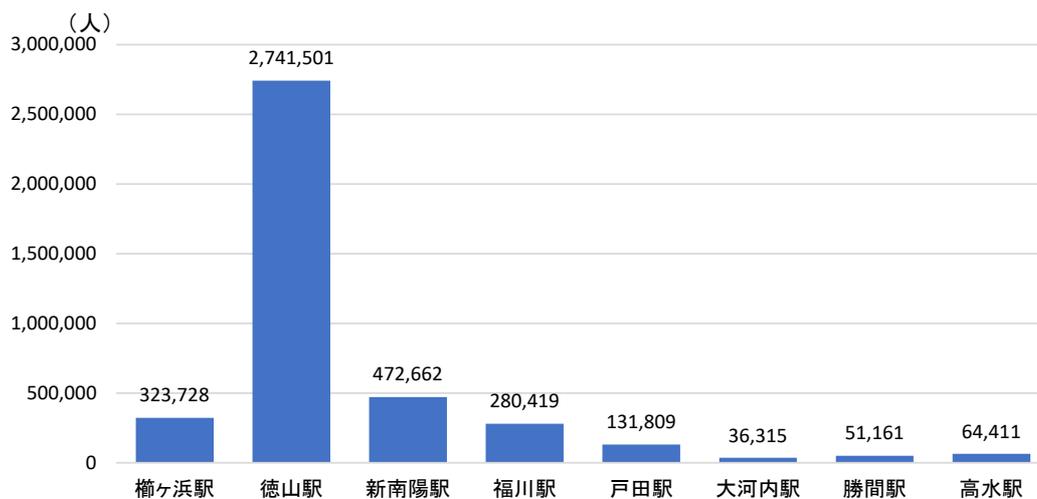


図 16 周南市に係る鉄道網

② 利用状況

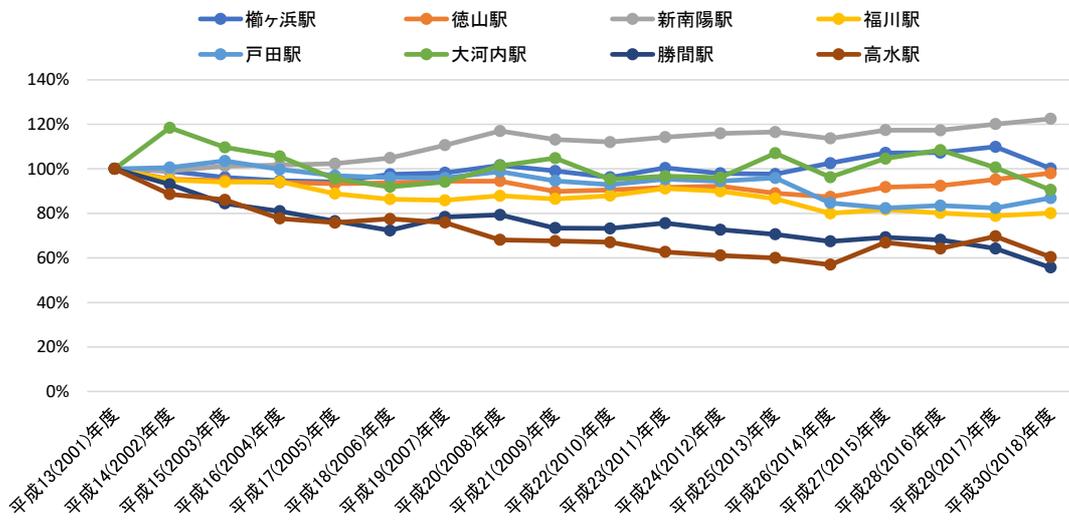
駅別の乗車人員をみると、徳山駅が突出して利用者数が多いほか、新南陽駅、榑ヶ浜駅の利用が多くなっています。

利用者数の推移をみると、新南陽駅では利用者数が年々増加している一方で、岩徳線の勝間駅や高水駅では利用者数が年々減少しています。徳山駅は、平成 26 (2014) 年度以降、利用者数が増加傾向です。



資料：山口県統計年鑑（山口県）

図 17 駅別の年間乗車人員(平成 30 (2018) 年度) ※徳山駅は新幹線乗降人員を含む



資料：山口県統計年鑑（山口県）

図 18 駅別の年間乗車人員の推移割合（平成 13（2001）年度を 100%とした場合の割合）

## ③駐車場・駐輪場の台数

各駅には駐車場や駐輪場が整備されています。5年前と比較して、徳山駅や櫛ヶ浜駅等で駐車場・駐輪場の収容台数が増えています。

表 1 各駅の駐車場・駐輪場の整備状況（市営のみ）

駅名	駐車場収容台数	駐輪場収容台数
徳山駅	【収容台数：225台】 徳山駅前駐車場、徳山駅西駐車場の 合計※有料	【収容台数：964台】 徳山駅西側駐輪場、徳山駅東側駐輪場、 徳山駅南側駐輪場の合計
櫛ヶ浜駅		【収容台数：415台】 櫛ヶ浜駅西駐輪場、櫛ヶ浜駅東駐輪場の合計
新南陽駅	【収容台数：7台】 新南陽駅前広場駐車場 ※月極区画を除いた数値、月極以外は無料	【収容台数：365台】 新南陽駅前駐輪場
福川駅	【収容台数：5台】 福川駅南駐車場（送迎用） ※無料	【収容台数：303台】 福川駅前駐輪場、福川駅南駐輪場の合計
戸田駅	【収容台数：26台】 戸田駅前駐車場 ※無料	【収容台数：34台】 戸田駅前駐輪場
大河内駅	【収容台数：58台】 大河内駅前駐車場 ※無料	【収容台数：62台】 大河内駅駐輪場
勝間駅	【収容台数：42台】 勝間駅前駐車場 ※無料	【収容台数：122台】 勝間駅駐輪場
高水駅	【収容台数：33台】 高水駅前駐車場 ※無料	【収容台数：75台】 高水駅駐輪場

## (2) 路線バス

### ① 運行状況

市内の路線バスは防長交通(株)により運行されています。路線は、大半が徳山駅を中心とした運行を行っており、南部では網目状に運行されています。

北部等の山間部では、主に国道や県道を運行しています。南部では、JR山陽本線やJR岩徳線と補完しあいながら運行している一方、経路が重複する系統が存在します。

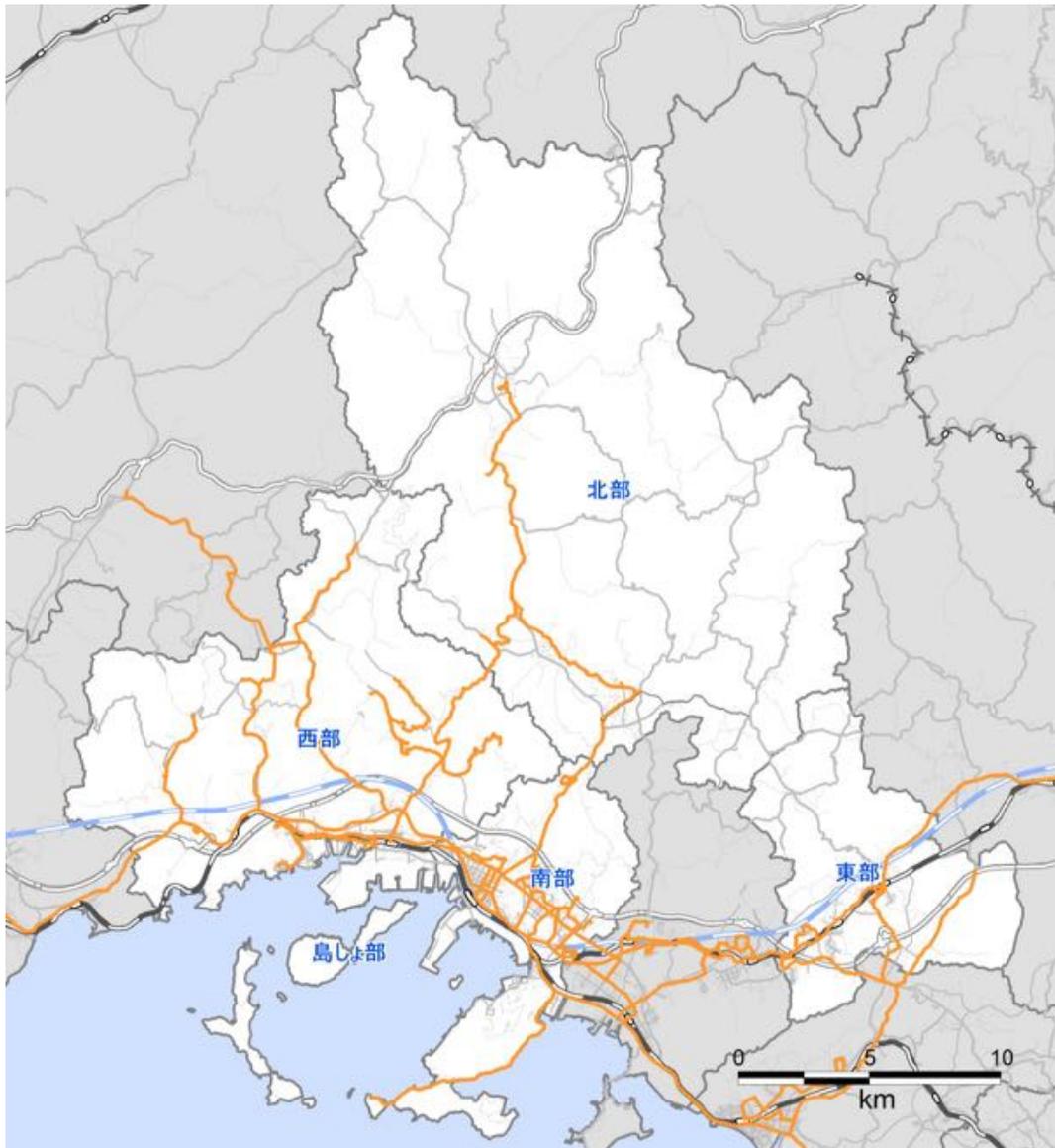


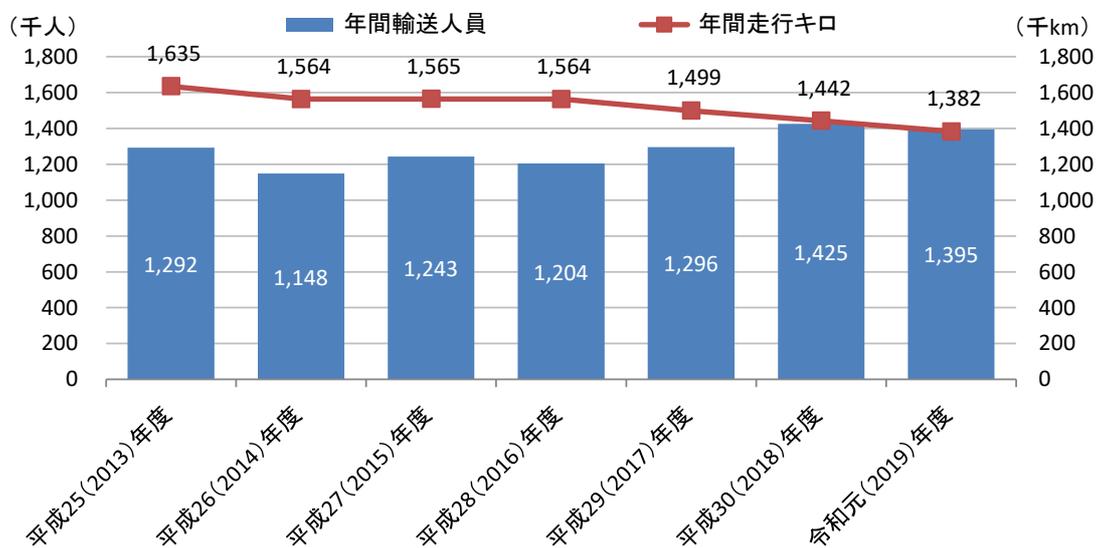
図 19 周南市に係る路線バス網 (令和 2 (2020) 年 10 月現在)



図 20 沿岸部における路線バスの運行経路（令和 2（2020）年 4 月現在）

②利用状況

市内の路線バスの利用者数は年度により若干の増減はありますが、ほぼ横ばいの傾向を示しています。一方で、利用者数が少ない路線の見直しを行う等により年間走行キロが減少していることから、効率化が図られているといえます。

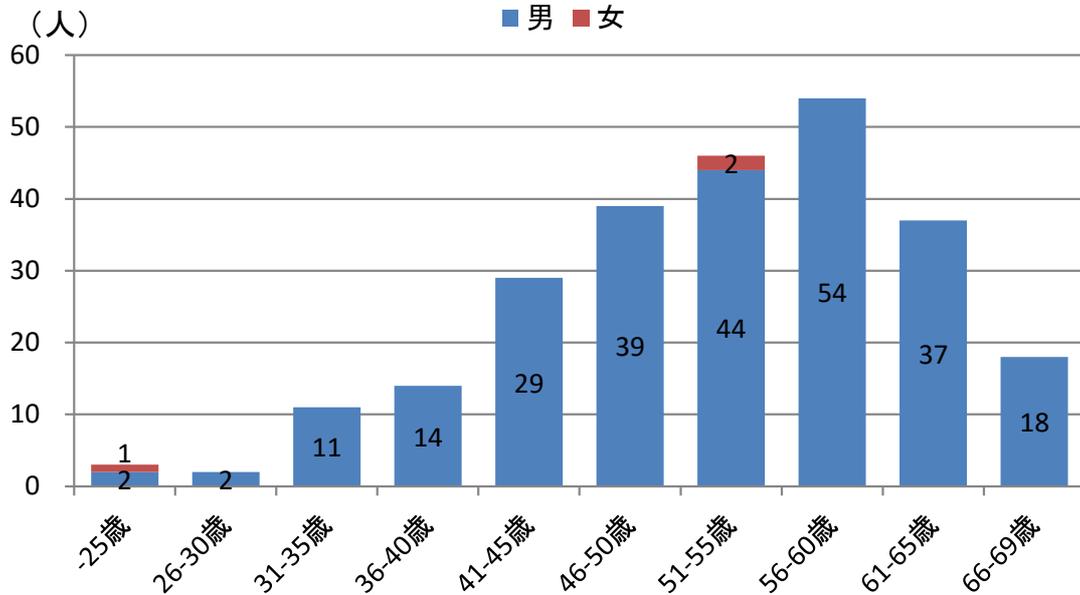


資料：周南市

図 21 路線バスの年間利用者数及び走行キロの推移（市内で完結する系統のみ）

### ③運転士確保に係る状況

運転士の高齢化が顕著となっており、運転士の年齢構成も41歳以上に極端に偏っている傾向にあります。特に56歳以上の運転士が多く、定年退職等に伴う人員不足に陥る可能性があります。



資料：防長交通

図 22 運転士の年齢構成（令和2（2020）年7月31日現在）

### (3) コミュニティ交通<sup>4</sup>

#### ①運行状況

本土部では5地区でコミュニティ交通が路線バスを補完する形で運行しています。大津島では島民及び親族に利用者を限定したコミュニティバスが運行しています。



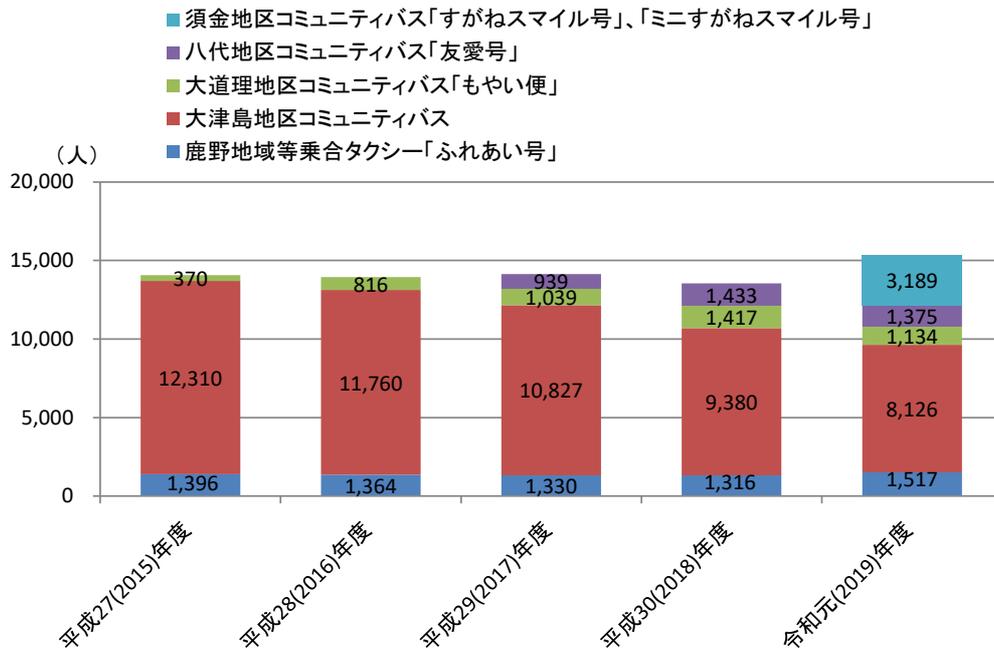
図 23 周南市に係るコミュニティ交通の運行エリア（令和2（2020）年10月現在）

<sup>4</sup> コミュニティ交通 民間交通事業者が主体的に運営する公共交通サービス（路線バス等）とは異なり、行政や地域の主体的な運営により提供される、コミュニティ内の移動を主とした公共交通サービスを、本計画では「コミュニティ交通」と定義する。

②利用状況

コミュニティ交通の利用者数は減少傾向にありましたが、令和元年に須金地区で新たなコミュニティ交通が運行開始されたことから、増加に転じています。

また、コミュニティ交通は平成27(2015)年度には3地区で導入されていましたが、令和元(2019)年度には5地区と、導入地区数が増えています。



資料：周南市

図 24 コミュニティ交通の利用者数

(4) タクシー

① 営業状況

タクシー営業所は沿岸部に比較的多く存在しますが、西部や北部はタクシー営業所がないエリアも存在します。

保有車両台数でみると、南部や西部以外のタクシー会社での保有台数が少ない状況です。

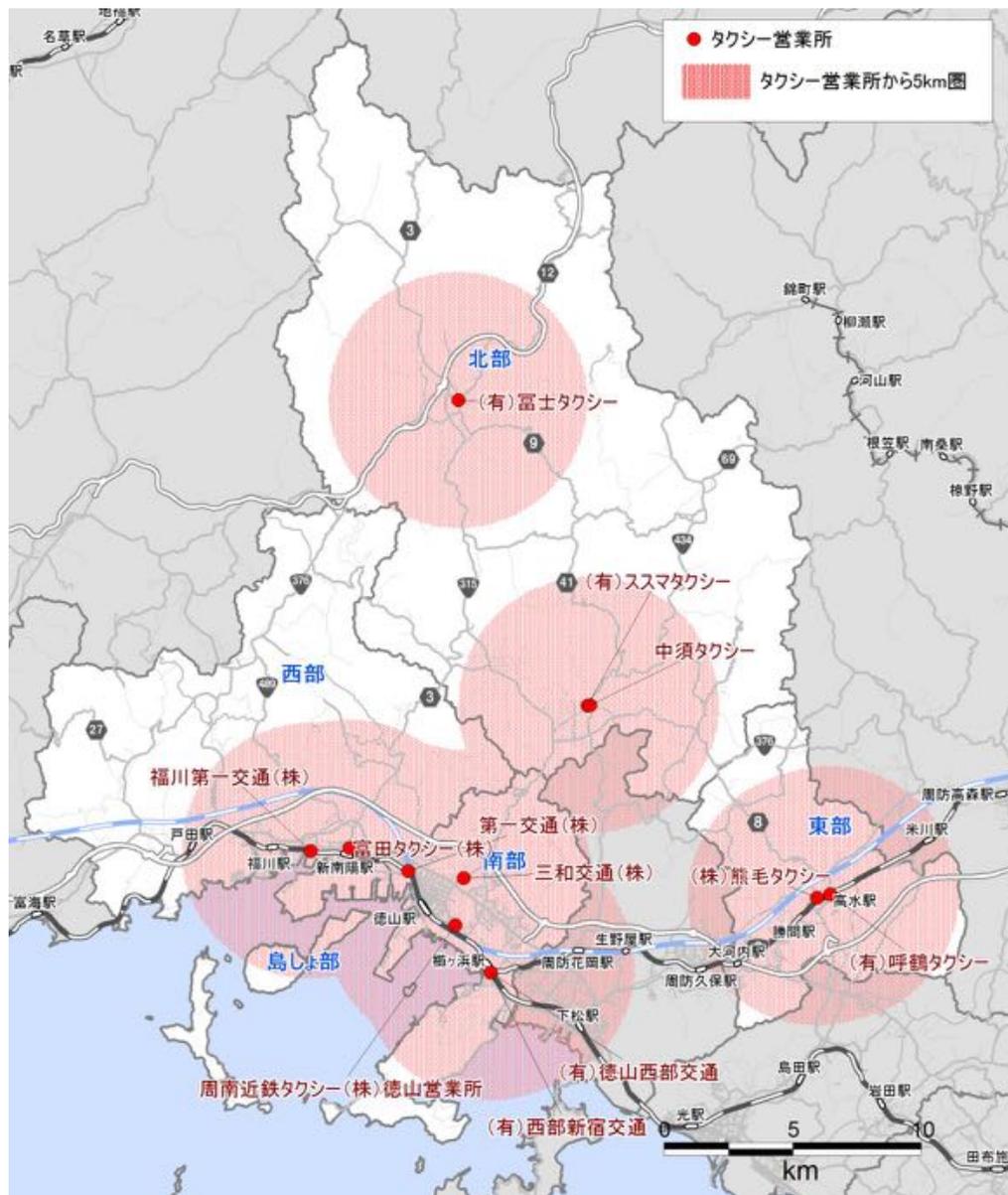


図 25 周南市内のタクシー営業所分布

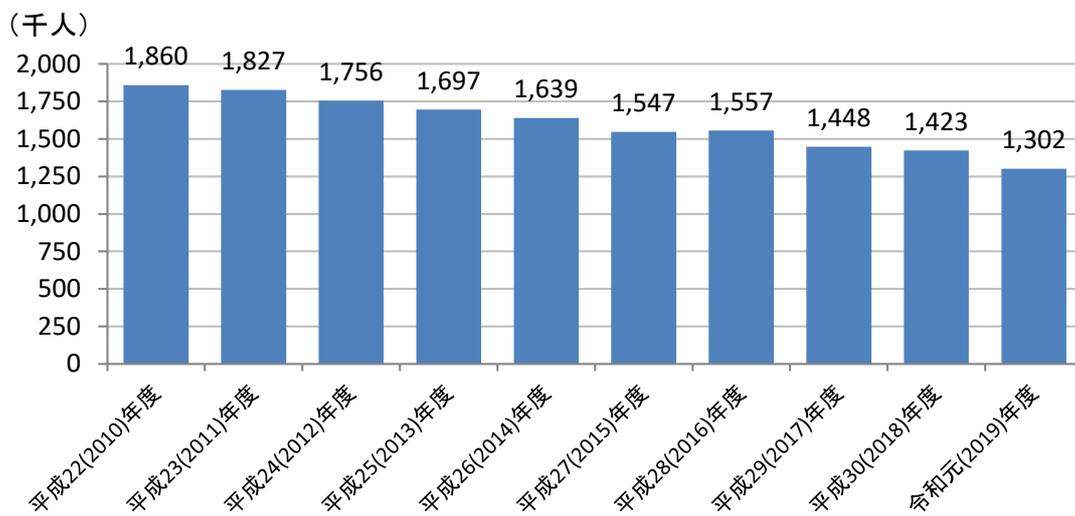
表 2 各タクシー事業者の保有車両台数

会社名		車両数		
		ジャンボ	普通車	福祉車両
南部	周南近鉄タクシー(株)	2	102	
	(有)徳山西部交通	1	33	
	三和交通(株)	1	39	
	(有)西部新宿交通	1	20	
	第一交通(株)		80	
東部	(有)呼鶴タクシー	1	4	
	(株)熊毛タクシー	1	6	1
西部	富田タクシー(株)		12	
	福川第一交通(株)	1	22	
北部	中須タクシー		2	
	(有)ススマタクシー		2	
	(有)富士タクシー	1	2	

資料：山口県タクシー協会 HP

②利用状況

利用者数は年々減少傾向を示しており、ここ10年間で3割ほど利用者数が減少しています。



資料：運輸要覧（中国運輸局）

図 26 周南市内のタクシー輸送人員の推移